

水浦 大山 群田 大興 元山

民権の伸張と職權の擴張の要
が進行せられた。然るに、

國の餘りし土地であ
 り、國語を講ずれば、
 すぐ、國語の興隆
 の端緒がある。あな
 ち、
 有力公私團體及官民志願者を結
 集したる如き目的とする國民
 精神振興會朝鮮總協会の結成を
 見るに至つたことと同じ喜ば
 べきことである。

光復民の同情に隨ひ、此の金を
 其の儘つくり内地、國の獨立を
 爲す目的とする事業の資金として
 用ひて、**平壤**でこれに充當せ

會局から取り保管
 金表裏し、書きま
 書付本願が人好
 てきこと、知し

受すべき日を下し、全許
 官を以て私闘及官民有礙者を編
 成するの如き目的を有する國
 體を以て、朝鮮朝鮮の結成に
 至つたことは何に疑ふべ
 ざるや。

位階勳等賜與の旨を主上太
 后閣下上海旅最殿の男主人太
 后龍氏に呈情に感蒙し此の金を
 其の儘でつくり内帑一體の強化
 を目的とする事業の一資金として
 賜與する。主上陛下に此を謝
 意を呈す。

賞賜からつて内帑一體の強化
 を為す。

賞賜を以て主上陛下に此を謝
 意を呈す。

鹽原聯盟理事長談

一、大國信を固めた次第であ
る。近時平島の轉向者は頗
多、國民投票總議員選出に參加
せりしした、固けても併合
一體の精神を離れて
ことは絶対に出来ず
事例を見て例へ身

「大國の爲に」

二體の情評を離れては完成するることとは絶對に出ません、此のことばを通じても、例へば、韓半島聯盟の中

大坂府豊後守修明
因急王兵衛御病

是日十一日夜八時頃龍山嶺を
れ、兵庫縣下の本郷に於て見舞
として五箇廿燭を吊出

本方方ルニ

オファガリ

イケン

10

大島伯鶴演

仁「ギヤ、君が……」と苦い顔をした。

仁「オイコラ、新しいとは何ちゃ

お婆さんになつてしまつたんで

よ、あなただつて、今にお婆さん

になるんですよ、仁科の爺い」

仁「オイコラ、新しいとは何ちゃ

お婆さんになつてしまつたんで

よ、あなただつて、今にお婆さん

になるんですよ、仁科の爺い」

仁「ギヤ、君が……」と苦い顔をした。

お客と云ふのは、小芳でしたか
小芳「體面さん、何うしてよとな
こゝれい頭をなやめなさい」
七「どうも女が體面さんへ来しやう
かん、困るやうぢやないか」
小芳「ア、これでも體面さん
なつては行けないと思つて、遠慮
して来ないでんだですよ、たま
には来てもよろしいぢやありません
か」
七「イヤいさん、痴も身を小
説讀みに奪ひ、夢の國民たゝん
を就へて貰ひ、賣場を近づけ、嘲
や罵つてとてんだといふこと
でもいはれても、我輩の恥辱とな
るやうな、これを婦人をして恥へ
けた、騒がしめなぢやないか、
今傳ひてゐる體面さん、費りて
なよしてゐる體面さん、只で
以上は體面さん、女奴へ、
なよせ、毎月女奴一圓土銀を
金拂つて居たぢやござ、そこ
我輩の許可を得ずして、體面に
れど、ちやうとあるか、之を
擲りかゝらうといへば、至孝教
堂からいへば、至孝教
堂「アア何でア、ねね體面さん、そ
うなん、なん、なん、つたつ
仕舞がない足ありまんか、
角田でござんたものでござん



一杯上げて、仲好くお話でもな

小芳「宜いすやうにせんか。そんな先づつかないで、おしひななら、學校の先生と認めのおしひなさうい、どうぞ天婦になるんぢやありませんか、女房が専主のことへ来るのが有が想ひ」

仁「イヤ、まだお爺いゝ親はほくない、まだ我道場者であるところへ、この二つあるのが来て、無縁に我が家を破産するやうう、それは堪へないから、出て行きたまへ」

小芳「そんなにかましこいことをいはなつて下さい……」

仁「ア、ヤいかん、間違ふなどに見えらるゝつて、出たさういふへ退却を命ぜり、弟、我體の甲冑に縋りに女を三階へ上げるやうな……上がつて来い」

仁「上がつて來下階の婆さん、婆（御）さん何ぞさ、遠ア婆アつて、さる遠處を走り来たやつだであせんか」

仁「七、買りに來ても、買手はない」

婆「マア情けいい、またて初めからお婆さんやあせんよ上つたら、娘の時やあせんよ」

いゝ、兎角母は色と戀つてえさねオホ、いゝお婆さん、仁「黙れッ、いやに色づけば婆だ、その女を一緒に出して退却を命ぜり」

婆「アレシ、私にこの客の者さした」

仁「いゝさうか、聞たい婆ア大分くらゐおつちうとだから、大かたこのの主だから、文化はおやら」

婆「愚直なことはいひませんア、マアいいさやありさやせぬ組さなゆつて」

仁「イヤいかん、竊賊たる者の知るところへ、勝敗が赤ラウより上つて、知れることゝいひ、隨つて一々何にしても聞させぬ、一言出したに聞かない仁禮の氣風、知ご居りますか小芳も、小芳「これはは嫌へ、中村も時々なものと云ひ、遊びに来さいわれ、おやかこうと云ひ、よく聞くんで小方に謝つて行かん、婆（仁）科さんたら、都度

二是非お忘れなく三
 鴉居堂の防蟲香と匂袋
 焼居堂香爐 本町三丁目
 東洋雜貨料式 九
 支那支店房具 露山房
 電話本四九八〇番

腎臟疾患

劑療治的態本の異特

ンデワルア

アルワチンは利尿に依て病的蛋白を除去せんとするが如き姑息的なる治療を目的とせざる本態的治療劑なり。

アルワチンは近代學理とその實驗に基き、百合科植物より抽出せるサポニンの一種にして、血液なる尿毒症狀を緩解し、病的蛋白を利尿によらずして速に除去する等姑息的對策と其の撰を異にする著明なる作用は、甘味なる内服藥たることと相俟つて、汎く費用せらる。

其れ他多數
臨床集部早
報告集部早

定價
二〇八人
一〇八人
千八百五拾圓
千八百五拾圓
八百五拾圓

東京 正好社 分店
大阪 正好社 分店
神戶 正好社 分店
小倉 正好社 分店
京都 正好社 分店
名古屋 正好社 分店
東京 正好社 分店
大阪 正好社 分店
神戶 正好社 分店
小倉 正好社 分店
京都 正好社 分店
名古屋 正好社 分店

目下三町見伏區販賣所大
行洋品藥本日露 元置設
目下二町本區橋本日市京東
店商郎三才邊本日市京東


A 103

● 指間水虫・股間いんさん

● 顔・手足のあれ

ニールソウム
ンペ

國産の王座
書きよく
錆びず
強くて
値の安い



店南井澤 大正 昭和

●痛打一撃 形勢逆轉！堂々
頭痛を壓して
ノーシン
凱歌を奏す ●

キエカトール

家畜専用キエカトールあり

家庭用芳香強力殺虫液

理化学博士佐々木忠次郎先生
 著 大 式 生 物 有 効 印 證 明
 蠅、蚊、南京虫、ウシ、家タニ
 等を根絶して悪疫を防止し
 室内を浄化して衛生を守れ

くきくは番一と体浴

安住か線香本舖
 設大住大
 大版大

五—四

時局向贈答用
美麗進物輸入
發賣中

洗面に…
入浴に…

せひこの優良品を!!!

作用の柔和さ
使ひ心地の爽

やかさ、キメ

細かく、強健

な肌を創る

近代科學の生んだ優良品

牛乳石鹼の

標準的品質!

石鹼も、お肌
にヌラついた
り、石鹼分を
残す様なのは
不快なばかり
でなく、肌の
美容・健康上
全然駄目です

牛乳石鹼

肌の玉に泡一

株式会社牛乳石鹼 阪大 徳本

1158

日鮮海運株式會社
 本社 東京市丸の内區丸の内一〇八・五五五番
 支店 神戶市西區西船場一四四番
 電話 七〇〇三番

肉鮮運輸船出帆
 船名 丸 七月十六日
 第一號丸 七月十七日
 第二號丸 七月十八日
 第三號丸 七月十九日
 第四號丸 七月二十日
 第五號丸 七月二十一日
 第六號丸 七月二十二日
 第七號丸 七月二十三日
 第八號丸 七月二十四日
 第九號丸 七月二十五日
 第十號丸 七月二十六日
 第十一號丸 七月二十七日
 第十二號丸 七月二十八日
 第十三號丸 七月二十九日
 第十四號丸 七月三十日
 第十五號丸 八月一日
 第十六號丸 八月二日
 第十七號丸 八月三日
 第十八號丸 八月四日
 第十九號丸 八月五日
 第二十號丸 八月六日
 第二十一號丸 八月七日
 第二十二號丸 八月八日
 第二十三號丸 八月九日
 第二十四號丸 八月十日
 第二十五號丸 八月十一日
 第二十六號丸 八月十二日
 第二十七號丸 八月十三日
 第二十八號丸 八月十四日
 第二十九號丸 八月十五日
 第三十號丸 八月十六日
 第三十一號丸 八月十七日
 第三十二號丸 八月十八日
 第三十三號丸 八月十九日
 第三十四號丸 八月二十日
 第三十五號丸 八月二十一日
 第三十六號丸 八月二十二日
 第三十七號丸 八月二十三日
 第三十八號丸 八月二十四日
 第三十九號丸 八月二十五日
 第四十號丸 八月二十六日
 第四十一號丸 八月二十七日
 第四十二號丸 八月二十八日
 第四十三號丸 八月二十九日
 第四十四號丸 八月三十日
 第四十五號丸 八月三十一日
 第四十六號丸 九月一日
 第四十七號丸 九月二日
 第四十八號丸 九月三日
 第四十九號丸 九月四日
 第五十號丸 九月五日
 第五十一號丸 九月六日
 第五十二號丸 九月七日
 第五十三號丸 九月八日
 第五十四號丸 九月九日
 第五十五號丸 九月十日
 第五十六號丸 九月十一日
 第五十七號丸 九月十二日
 第五十八號丸 九月十三日
 第五十九號丸 九月十四日
 第六十號丸 九月十五日
 第六十一號丸 九月十六日
 第六十二號丸 九月十七日
 第六十三號丸 九月十八日
 第六十四號丸 九月十九日
 第六十五號丸 九月二十日
 第六十六號丸 九月二十一日
 第六十七號丸 九月二十二日
 第六十八號丸 九月二十三日
 第六十九號丸 九月二十四日
 第七十號丸 九月二十五日
 第七十一號丸 九月二十六日
 第七十二號丸 九月二十七日
 第七十三號丸 九月二十八日
 第七十四號丸 九月二十九日
 第七十五號丸 九月三十日
 第七十六號丸 十月一日
 第七十七號丸 十月二日
 第七十八號丸 十月三日
 第七十九號丸 十月四日
 第八十號丸 十月五日
 第八十一號丸 十月六日
 第八十二號丸 十月七日
 第八十三號丸 十月八日
 第八十四號丸 十月九日
 第八十五號丸 十月十日
 第八十六號丸 十月十一日
 第八十七號丸 十月十二日
 第八十八號丸 十月十三日
 第八十九號丸 十月十四日
 第九十號丸 十月十五日
 第九十一號丸 十月十六日
 第九十二號丸 十月十七日
 第九十三號丸 十月十八日
 第九十四號丸 十月十九日
 第九十五號丸 十月二十日
 第九十六號丸 十月二十一日
 第九十七號丸 十月二十二日
 第九十八號丸 十月二十三日
 第九十九號丸 十月二十四日
 第一百號丸 十月二十五日

大和組回漕部
 電話 七〇〇三番

スーユニ 朝日新聞
 寄附丹桂 都立松竹
 同 同
 路字十婚結 M.G.M
 鐵子三人小大 鐵子五人金小
 (送附時價別表)

龍京館
 七月十一日 夜
 早朝 早朝 早朝
 午前 午前 午前
 午後 午後 午後
 夜 夜 夜
 七月十二日 夜
 早朝 早朝 早朝
 午前 午前 午前
 午後 午後 午後
 夜 夜 夜
 七月十三日 夜
 早朝 早朝 早朝
 午前 午前 午前
 午後 午後 午後
 夜 夜 夜

浪花館
 七月十一日 夜
 早朝 早朝 早朝
 午前 午前 午前
 午後 午後 午後
 夜 夜 夜
 七月十二日 夜
 早朝 早朝 早朝
 午前 午前 午前
 午後 午後 午後
 夜 夜 夜
 七月十三日 夜
 早朝 早朝 早朝
 午前 午前 午前
 午後 午後 午後
 夜 夜 夜

中央館
 七月十一日 夜
 早朝 早朝 早朝
 午前 午前 午前
 午後 午後 午後
 夜 夜 夜
 七月十二日 夜
 早朝 早朝 早朝
 午前 午前 午前
 午後 午後 午後
 夜 夜 夜
 七月十三日 夜
 早朝 早朝 早朝
 午前 午前 午前
 午後 午後 午後
 夜 夜 夜

朝日新聞
 七月十三日 夜
 早朝 早朝 早朝
 午前 午前 午前
 午後 午後 午後
 夜 夜 夜
 七月十四日 夜
 早朝 早朝 早朝
 午前 午前 午前
 午後 午後 午後
 夜 夜 夜
 七月十五日 夜
 早朝 早朝 早朝
 午前 午前 午前
 午後 午後 午後
 夜 夜 夜

金座館
 七月十三日 夜
 早朝 早朝 早朝
 午前 午前 午前
 午後 午後 午後
 夜 夜 夜
 七月十四日 夜
 早朝 早朝 早朝
 午前 午前 午前
 午後 午後 午後
 夜 夜 夜
 七月十五日 夜
 早朝 早朝 早朝
 午前 午前 午前
 午後 午後 午後
 夜 夜 夜

喜劇館
 七月十三日 夜
 早朝 早朝 早朝
 午前 午前 午前
 午後 午後 午後
 夜 夜 夜
 七月十四日 夜
 早朝 早朝 早朝
 午前 午前 午前
 午後 午後 午後
 夜 夜 夜
 七月十五日 夜
 早朝 早朝 早朝
 午前 午前 午前
 午後 午後 午後
 夜 夜 夜

京塚劇場
 七月十三日 夜
 早朝 早朝 早朝
 午前 午前 午前
 午後 午後 午後
 夜 夜 夜
 七月十四日 夜
 早朝 早朝 早朝
 午前 午前 午前
 午後 午後 午後
 夜 夜 夜
 七月十五日 夜
 早朝 早朝 早朝
 午前 午前 午前
 午後 午後 午後
 夜 夜 夜

ワケキ
 七月十三日 夜
 早朝 早朝 早朝
 午前 午前 午前
 午後 午後 午後
 夜 夜 夜
 七月十四日 夜
 早朝 早朝 早朝
 午前 午前 午前
 午後 午後 午後
 夜 夜 夜
 七月十五日 夜
 早朝 早朝 早朝
 午前 午前 午前
 午後 午後 午後
 夜 夜 夜

林産資源増強のため 燃料節約を強行

一般家庭をはじめ各工場に 江原道、目標を指定

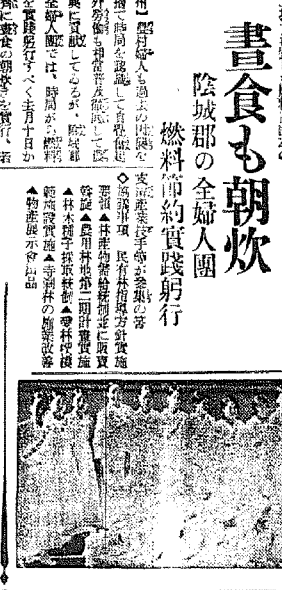
【本報東京十七日電】林産資源増強のため、燃料節約を強行する。江原道は、一般家庭をはじめ各工場に、目標を指定する。江原道は、一般家庭をはじめ各工場に、目標を指定する。江原道は、一般家庭をはじめ各工場に、目標を指定する。

代用品なきや 各工場の薪炭消費量 實に年九百廿萬貫

【本報東京十七日電】薪炭消費量の調査結果、各工場の薪炭消費量は、實に年九百廿萬貫に達した。薪炭消費量の調査結果、各工場の薪炭消費量は、實に年九百廿萬貫に達した。

書食も朝炊 陰城郡の全婦人團 燃料節約実践躬行

【本報東京十七日電】燃料節約実践躬行、陰城郡の全婦人團が、書食も朝炊を実施した。燃料節約実践躬行、陰城郡の全婦人團が、書食も朝炊を実施した。



陰城郡の全婦人團、燃料節約実践躬行。

晴れの新課長朗か 社会、農振、水産の三課新設

【本報東京十七日電】晴れの新課長朗か、社会、農振、水産の三課新設。晴れの新課長朗か、社会、農振、水産の三課新設。

晴れの新課長朗か、社会、農振、水産の三課新設。



晴れの新課長朗か、社会、農振、水産の三課新設。

江華の恩人 倉氏表彰式

【本報東京十七日電】江華の恩人、倉氏表彰式。江華の恩人、倉氏表彰式。

馬場報國 開業即ち

【本報東京十七日電】馬場報國、開業即ち。馬場報國、開業即ち。

よくある手です 役付を餌に若い女優を弄る

【本報東京十七日電】よくある手です、役付を餌に若い女優を弄る。よくある手です、役付を餌に若い女優を弄る。

劇団のドラ目玉 富川所長長考

【本報東京十七日電】劇団のドラ目玉、富川所長長考。劇団のドラ目玉、富川所長長考。

魚粉の販賣統制策 清津は独自の立場で實施

【本報東京十七日電】魚粉の販賣統制策、清津は独自の立場で實施。魚粉の販賣統制策、清津は独自の立場で實施。

古鉄、あき場等 廢物四萬斤 仁川各町青年團や 各町會の赤誠積る

【本報東京十七日電】古鉄、あき場等、廢物四萬斤。仁川各町青年團や各町會の赤誠積る。古鉄、あき場等、廢物四萬斤。仁川各町青年團や各町會の赤誠積る。

江原道評令 内務、農林、水産、教育、衛生、警察、地方自治、各課長任命

【本報東京十七日電】江原道評令、内務、農林、水産、教育、衛生、警察、地方自治、各課長任命。江原道評令、内務、農林、水産、教育、衛生、警察、地方自治、各課長任命。

清州本町通り 自動車通行止

【本報東京十七日電】清州本町通り、自動車通行止。清州本町通り、自動車通行止。

忠北の満洲移民 上半期に千六百八人 間島省が最も多い

【本報東京十七日電】忠北の満洲移民、上半期に千六百八人。間島省が最も多い。忠北の満洲移民、上半期に千六百八人。間島省が最も多い。

御本尊を賣る 生臭坊主悪の行状記

【本報東京十七日電】御本尊を賣る、生臭坊主悪の行状記。御本尊を賣る、生臭坊主悪の行状記。

長崎漁訓の 練習船新造

【本報東京十七日電】長崎漁訓の練習船新造。長崎漁訓の練習船新造。

記念日に献金 靖國神社御掛軸

【本報東京十七日電】記念日に献金、靖國神社御掛軸。記念日に献金、靖國神社御掛軸。

面談金代納 元面長の美事

【本報東京十七日電】面談金代納、元面長の美事。面談金代納、元面長の美事。

江原道月報に指導啓 江原道月報に指導啓

【本報東京十七日電】江原道月報に指導啓。江原道月報に指導啓。

鼻が高くなる 隆鼻器

鼻は人生の花。鼻が高くなる。隆鼻器。鼻は人生の花。鼻が高くなる。隆鼻器。

謹みて國民精神總動員の一環として

文展入選大家高山祥雲畫伯肉筆極彩色絹本、靖國神社御掛軸を推奨す。文展入選大家高山祥雲畫伯肉筆極彩色絹本、靖國神社御掛軸を推奨す。

靖國神社御掛軸

高山祥雲先生、御掛軸。靖國神社御掛軸。高山祥雲先生、御掛軸。

義勇奉公

義勇奉公、御掛軸。義勇奉公、御掛軸。

東京美術協會

東京美術協會、御掛軸。東京美術協會、御掛軸。

東京美術協會

東京美術協會、御掛軸。東京美術協會、御掛軸。

東京美術協會

東京美術協會、御掛軸。東京美術協會、御掛軸。

潤製

ライオン歯磨

ムシ歯と歯槽膿漏
豫防の極まり手は

寝る前の
ライオン歯磨で！



☆時局の要求する歯磨！

◇ライオン潤製歯磨は、獨得の製法によつて終始適度の潤ひを保つてゐますから、香味がよく粉末が飛散せず、一罐が逆も永持し誠に經濟的であります。

然もその滅菌、清掃効果頗る顯著で、ムシ歯及び歯槽膿漏を豫防する強力な性能を有して居ります。

◇今や時局は愈國民體位の向上に、物心兩面の總動員を要求しつゝあるに鑑み、この潤製歯磨こそは、全く時局の要求に合致せるものと謂ふべく、舉國一致、之が御愛用を冀ひ上ぐる所以であります。

鐵道復舊の使命果し

愛刀杖に壯烈な最期

新しき遺骨背負ふ淺川隊長



部問界と職陣懸

鐵類泥の温床

古物商入鐵槌

「買取嚴禁」當局寶刀を抜く

捕はれて幸福

支那の少年兵ふたり
今
は中村部隊の人気者

ホテルの怪死事件

モヒに蝕まれ金山に狂つた男

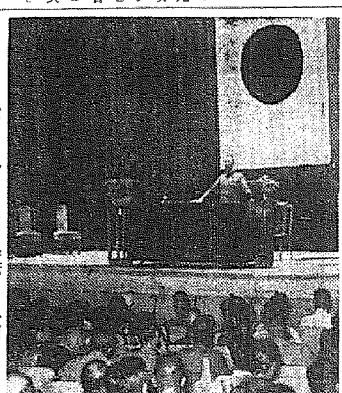
自己創製の注射薬に
命奪はれた薬剤師

熾烈な科學熱から犠牲となる



銃後の期待に反かず
川岸中將聖戰大講演會

きのふ
一千の聴衆感激に酔ふ



ふりの客をよい事に
この惡徳ぶり

驛前の果物屋に當分の眼光を
りを見、醫政果實數十種を證據 一三〇號金葉順方裏石

『もつと氣の毒な
遺家族の方へ』

町會支給の 是則金を匿名で贈
問金として町會からこれを預さま。 永登浦署によつて摘獲

困つたもの

力通りに荷重の放



下 竹 留 五

煤煙の空を淨化

て国防献金した

四九ノ五五を成城さん方門前で
朝鮮人女が幽宿りし乍ら子供に授
乳してゐたが家人の隙を見て首目

子供を捨て逃げ去つた
郎氏母堂

る十五日午前九時より神田
子學園に校務を行く同十時

卷之十一 日誌、靈泉

☆……電車の振動を利用し
男がさつきかた
ある

七

☆……堪りかねてか娘は次
所へ降りた、隨いて降り
参れた真似をして、こゝ

八十一
間、庶事の手はこの

明治三十一年七月三十一日公定時
七月三十一日 日誌様式 七名寄
機件停止
昭和拾三年五月
東洋殖植株式會社

若乃美
素乃美
起町一丁目
二八八
衣笠
産婦人科
医学博士
衣笠 茂
寄本5912

日光ペン
見本 包切手大線刷入封筒
四角 東京 山形 山梨 山崎 山崎
日光 日光 日光 日光 日光
日光 日光 日光 日光 日光

京日案内
料金表(料金は随時開示)
件一 件二 件三 件四 件五 件六 件七 件八 件九 件十 件十一 件十二 件十三 件十四 件十五 件十六 件十七 件十八 件十九 件二十 件二十一 件二十二 件二十三 件二十四 件二十五 件二十六 件二十七 件二十八 件二十九 件三十 件三十一 件三十二 件三十三 件三十四 件三十五 件三十六 件三十七 件三十八 件三十九 件四十 件四十一 件四十二 件四十三 件四十四 件四十五 件四十六 件四十七 件四十八 件四十九 件五十 件五十一 件五十二 件五十三 件五十四 件五十五 件五十六 件五十七 件五十八 件五十九 件六十 件六十一 件六十二 件六十三 件六十四 件六十五 件六十六 件六十七 件六十八 件六十九 件七十 件七十一 件七十二 件七十三 件七十四 件七十五 件七十六 件七十七 件七十八 件七十九 件八十 件八十一 件八十二 件八十三 件八十四 件八十五 件八十六 件八十七 件八十八 件八十九 件九十 件九十一 件九十二 件九十三 件九十四 件九十五 件九十六 件九十七 件九十八 件九十九 件一百

タイ
ビスト生業
明治三十一年七月三十一日
昭和十三年五月
明治三十一年七月三十一日
昭和十三年五月
明治三十一年七月三十一日
昭和十三年五月

店員
若乃美
衣笠 茂
寄本5912

貸事
南大
明治三十一年七月三十一日
昭和十三年五月
明治三十一年七月三十一日
昭和十三年五月

小使
明治三十一年七月三十一日
昭和十三年五月
明治三十一年七月三十一日
昭和十三年五月

合衆興業
明治三十一年七月三十一日
昭和十三年五月
明治三十一年七月三十一日
昭和十三年五月

至急採用

[illegible]

